

労福協 NEWS

<http://www.tokushima-rofuku.net/>

2019.7 No.94



中央労福協 2019 年度全国研究集会

「支え合い・助け合いで、誰ひとり取り残さない福祉社会を！」
～労働者福祉運動で共助の輪を地域に広げよう～



2019年6月7日から2日間、熊本市にて労働者福祉中央協議会主催による2019年度全国研究集会が「支え合い・助け合いで、誰ひとり取り残さない福祉社会を！」をテーマに、過去最大の380名が参加し開催されました。

来賓として蒲島郁夫熊本県知事が熊本県PRマスコットキャラクターのくまモンと登壇され、熊本地震発災から3年を経てまだ3,000世帯が困難な状況にあるなか、全国からの復興に対する支援に謝意を述べるとともに、単なる復興ではなく熊本の更なる発展に向けた創造的復興を成し遂げたいと具体的施策を力強く語り、会場からは大きな拍手が送られました。

続いて、特定非営利活動法人「抱樸」の奥田知志理事長から「共生社会とは何か」～いのちの普遍的価値と家族機能の社会化について～と題し、特別講演がありました。冒頭、5月28日に起こった川崎殺傷事件とそれに触発された元農林水産省事務次官による息子殺害事件に言及され、事件の背景として常態化した「自己責任論社会」があると問題提起されました。元事務次官を知るかつての上司が語った「元次官は仕事は優秀だった、しかし彼に息子がいたとは知らなかった。」という言葉に集約されるように、定年まで勤めた同じ職場の人間に息子がいたということを知らなかったという事実、この父親こそが最も孤立していたのではないかと投げかけがありました。



ひきこもりについては、日本特有の現象で、長年にわたって家族がそれを引き受け続けているが、家族の弱体化の一方「身内の責任」として追及する世の中に対し、すべて自己責任でかたづけられるならば、社会も国家も組合も要らない、と社会が引き受ける仕組みがないことを指摘し、現代社会の「助けてと言えない、言わせない」空気感に強い懸念を示しました。

基調講演では宮本太郎中央大学教授から「2040年に向かう地域と生活保障」という演題で、日本は世代間・地域間・税収と社会保障支出という3つの不均衡が極大化しているなかで機能不全に陥っている今までの日本の一方通行型社会を見直し、働くことを軸とした共生社会・再チャレンジできる社会、交差点型社会へと転換をはかつていかなければならないという提言がありました。

午後から「労福協の理念と2020年ビジョン」の検証・見直しについて、中央労福協の花井圭子事務局長より報告がありました。その後、「支え合い・助け合いで、誰ひとり取り残さない社会を」をテーマに、コメンテーターとして宮本太郎氏、5人のパネリストを迎えパネル討論を行いました。労働者福祉運動への期待として、異質な人たちが出会う場として労福協には今まで以上のコーディネート機能が求められました。



今回の研究集会で、時代を反映させた社会的課題を解決する糸口となる提言・報告・議論がなされ、実際に取り組みも進んでいますが、共通して言えることは地域の支え合い・助け合いはどの時代も普遍的であるということ、そのことを改めて実感した全体集会でした。

「労福協 NEWS」は、連合、労金、こくみん共済 coop、勤労者福祉ネットワーク、労館、労福協の6団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。

労 福 協

第9回(通算47回)定時会員総会開催



6月19日、徳島県労働福祉会館において徳島県労福協第9回(通算47回)定時会員総会が、理事・会員等33名の出席のもと開催された。

寺西稔副会長の開会挨拶、総会成立宣言に続き、総会議長には連合徳島の板東喜代子氏が選出され、主催者を代表して川越敏良会長が挨拶を述べた。

来賓には飯泉嘉門徳島県知事の代理として住友信二商工労働観光部次長が出席され、祝辞を述べられた。

その後議案審議に入り、第1号議案「2018年度事業報告及び収支決算について」、第2号議案「理事及び監事の選任について」、第3号議案「一般社団法人徳島県労働福祉会館との合併準備会報告並びに今後の進め方について」が満場一致で可決承認され、報告事項である「2019年度事業計画及び収支予算」についても承認された。

議案審議の後、退任理事及び新任理事が挨拶を述べ、最後に議長が退任挨拶を述べた後、藤岡一雄副会長が締めくくり、閉会となった。



具体的活動の取り組み分野

1. 公益事業

- ①調査研究事業(労働者福祉に関する調査研究)
- ②広報事業(ホームページ更改、共同デスク)
- ③地域ライフサポートセンター支援事業
- ④労働者福祉推進事業
(県民と働く者のとくしまフェスタ、労働者福祉メーデー、労働者福祉推進員養成講座、労働者福祉推進委員会、各種セミナー・研修会の開催)
- ⑤NPO・ボランティア支援事業
(労働安全衛生管理者養成講座、福祉ボランティア、国際交流・貢献ボランティア、救援ボランティア)
- ⑥次世代育成支援のための職場環境整備事業
- ⑦働くなら徳島で!外国人就労支援事業
- ⑧若年者早期離職対策事業
- ⑨障がい者等の就労支援事業
- ⑩高齢者等の福祉推進事業
- ⑪地域若者サポートステーション事業
- ⑫若年者すだち(県立ち)支援事業/あわ若年者すだち(県立ち)支援事業
- ⑬若年者等ケアサポート充実事業
- ⑭生活困窮者自立支援事業(パーソナルサポートセンターとくしま、こまつしま生活自立支援センター、あなんパーソナル・サポートセンター、鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」、徳島市子どもの学習支援事業「学びサポート塾」、鳴門市よりそい学習支援事業「学びサポ

ート塾なると)」

- ⑮鳴門市被保護者就労支援事業
- ⑯生活・就労自立支援基金事業(生活・就労自立支援基金運営委員会)
- ⑰職業能力開発講座事業(ジョブカレッジとくしま)
- ⑱就労支援相談事業(ジョブとくしま無料職業紹介所、仕事なんでも相談室)

2. 収益事業

- ①介護保険事業(居宅介護支援事業等・訪問介護)
- ②障がい者総合福祉事業(居宅介護・同行援護)

3. その他事業

<労福協独自事業>

- ①国際交流事業
- ②中期ビジョン推進事業
- ③政策制度改善事業
- ④相談支援事業
- ⑤各労働者福祉事業団体との連携事業

<連携事業>

- ①賀川豊彦関連事業
- ②国際交流支援事業
- ③反貧困・県民生活支援事業
- ④環境改善運動事業

4. 管理事業

- ①法人管理事業(会員総会・理事会・三役会議・企画委員会・事業委員会・事務局会議)
- ②コンプライアンス推進事業(コンプライアンス推進室)

<2019年度 役員名簿>

2019年6月19日現在

役 職 名	氏 名	所 属 等
会 長	川 越 敏 良	公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
副 会 長	新 居 栄 治	日本労働組合総連合会徳島県連合会
	藤 岡 一 雄	こくみん共済 coop 徳島推進本部
	森 本 佳 広	四国労働金庫徳島営業本部
専 務 理 事	三 橋 松 男	公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
常 務 理 事	兼 松 文 子	公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
理 事	久 積 育 郎	公益社団法人徳島県労働者福祉ネットワーク
	福 本 純	一般社団法人徳島県労働福祉会館
	大 地 均	全 徳 島 建 設 労 働 組 合
	大久保 秀 幸	徳島県生活協同組合連合会とくしま生協
	山 藤 正 義	徳 島 県 退 職 者 連 合
	瀧 誠 司	う ず し お 法 律 事 務 所
	佐 藤 健 二	徳 島 大 学 心 理 学 分 野
	和 泉 芳 枝	徳 島 県 社 会 福 祉 士 会
	三 木 裕 子	四国地方社会保険医療協議会委員
監 事	板 東 啓 太 郎	四国労働金庫徳島営業本部
	藤 原 茂	税理士法人ティグレパートナーズ徳島
	豊 田 浩	こくみん共済 coop 徳島推進本部

【退任役員】

副 会 長 寺西 稔(四国労働金庫徳島営業本部)
専務理事 林 善章(公益社団法人徳島県労働者福祉協議会)
理 事 梶原 樹(徳島県生活協同組合連合会とくしま生協)

【新任役員】

副 会 長 新居 栄治(日本労働組合総連合会徳島県連合会)
専務理事 三橋 松男(公益社団法人徳島県労働者福祉協議会)
理 事 大久保秀幸(徳島県生活協同組合連合会とくしま生協)
理 事 和泉 芳枝(徳島県社会福祉士会)
理 事 三木 裕子(四国地方社会保険医療協議会委員)

連 合

第90回徳島メーデー



第90回徳島メーデーが2019年4月27日(土)、5月1日(水)の両日、県内5会場で開催され、約2,100人が参加しました。(徳島中央・1,500人、阿南那賀海部地区・140人、中部地区・228人、美馬地区・80人、三好地区・150人)

初めての4月開催となった、第90回徳島中央メーデーは4月27日徳島市の新町川公園・御成婚広場で開催され、各構成組織・労働福祉団体など、50団体・1,500人が参加しました。被災地復興支援として、今回も岩手・宮城・熊本3県の物産品を抽選会の賞品として活用し、復興支援に取り組みました。

新居副実行委員長の挨拶で開会し、議長団に大谷連合徳島副会長と三木連合徳島女性委員会事務局長が選出され、主催者を代表して、森本実行委員長は「働き方改革の実現に向けて、政府と自治体、経営者団体、労働組合が本気で連携し、一体となった運動を展開する必要があります。時代が令和に変わり、日本の働き方が変わったという、歴史に残る改革にしていこう。」と呼びかけました。

続いて、来賓として飯泉徳島県知事、遠藤徳島市長、労働福祉団体を代表して(公社)徳島県労働者福祉協議会川越会長、国民民主党徳島県総支部連合会庄野代表、社民党徳島県連合前川代表、立憲民主党徳島県連合武内代表、連合徳島推薦議員ネットワークを代表して臼木県議から、挨拶を受けました。



渡邊副実行委員長からの祝電・メッセージ披露の後、①「2019中小春季生活闘争未解決組合を支援する特別決議」②「良質な公共サービスの確立を求める特別決議」③「働く者のための働き方改革の実現に向けた特別決議」の3本と、「メーデー宣言(案)」が提案され、全体の拍手で採択されました。

その後、國見副実行委員長からプラカード審査発表が行われ、メーデー大賞・徳島市農協労組女性部、優秀賞・徳島市農協労組、努力賞・東とくしま農協労組に賞品が贈られました。



鎌谷連合徳島副会長の閉会挨拶の後、森本実行委員長による団結ガンバローを三唱し、第90回徳島中央メーデーを終了しました。なお、集会終了後にデモ行進と抽選会が行われました。

5月街宣報告

「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」徳島駅前街宣行動を2019年5月15日にJR徳島駅前で行い、各構成組織等から33人が参加し、街頭宣伝・ビラ配布・街頭アンケートを行いました。

冒頭、連合徳島森本会長から2019春季生活闘争の第5回集計結果(5月8日集計)を報告した上で、「2月14日に行われた労働政策審議会雇用環境・均等分科会で『女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等の一部を改正する法律案要綱』について答申が行



われました。法案要綱は、女性活躍推進法の義務を拡充させる改正とパワーハラスメント防止処置やハラスメント責務規定などを法制化する労働施策総合推進法等の改正がまとめられた束ね法案となる予定であります。主な変更点として、法制的な観点で文言修正が行われ、具体的には、「ハラスメントは許されない」から、「ハラスメントは行ってはならない」との文言修正がありました。禁止規定に近い表現となったことを連合としては前向きに評価しています。一方、『国、事業主及び労働者の努めるべき事項』の見出しは責務規定と受け止めにくい表記であり、連合は法案化の際には、『ハラスメントは行ってはならない』とした上で、責務規定と理解できる表記にするよう審議会で意見を述べ、最大限努力するとの答弁を得たことから、審議会は法案要綱をおおむね妥当とし、厚生労働大臣への答申を行いました。連合は、今年のILO総会における『仕事の世界における暴力とハラスメント』の条約採択に向けて、日本政府に条約の支持と批准を求めています」と訴えました。

続いて、連合徳島推薦議員ネットワーク(庄野昌彦、黒崎章、仁木啓人)徳島県議会議員、(武知浩之、春田洋、増田秀司)徳島市議会議員から、今後の政策の取り組みを訴えました。

連合本部が地方連合会と取り組んでいる街頭アンケートの結果は以下の通りです。



街頭アンケート結果(49人)

アンケート内容	はい	いいえ	どちらとも	未回答
アベノミクスで私たちの暮らしは良くなりましたか?	(34.7%) 17	(61.2%) 30	(4.1%) 2	0
セーフティーネット・社会保障は充実していますか?	(63.3%) 31	(26.5%) 13	0	(10.2%) 5
生活と仕事の両立はできていますか?	(46.9%) 23	(42.9%) 21	0	(10.2%) 5
私たちの声は政治に反映されていますか?	(2.0%) 1	(83.7%) 41	(4.1%) 2	(10.2%) 5

ろうきん

NPO・ボランティア団体のみなさまへ！

四国ろうきんの助成金制度

福祉金融機関の「ろうきん」だから
出来ること！

**2019年度「助成金制度」の
助成先団体を募集します。**

2019年6月1日～2019年7月31日

(2019年10月～2020年9月末までに実施する事業が対象)

※「助成金募集」は年1回です。



過去17年間に
459件、約7,661万円の
助成を行っています

四国ろうきん「助成金制度」

社会福祉、高齢者問題、文化や
国際交流などの「福祉活動」を対象とし、
非営利で、公共性の高い
活動をしている団体に対し、
応募申請をもとに審査・選定し、
助成金を贈呈する制度です。

■助成金額

1団体 20万円以内

過去に助成実績のある団体は10万円以内

※詳細は、ホームページ等でご確認ください。

■助成対象団体の条件

助成対象団体は、NPO法人、社会福祉法人、その他住民の福祉の増進を図ることを目的とする法人及び任意団体です。

- (1) 組織の運営に関する定款又は会則・規約があり、決算報告書又は収支報告書の作成がされている団体。
- (2) 1年以上の活動実績を有し、引き続き活動できる団体
- (3) 10人以上の会員を有する団体

※労働組合や労働団体、自治会・町内会(コミュニティ)、PTA、校区の子供会、婦人会・老人会等については、助成対象外といたします。

その他詳細は、助成金申請書の応募募集要綱に記載しています。

また、四国労働金庫ホームページ <http://www.shikoku-rokin.or.jp> の「四国ろうきんについて」より、「社会貢献活動」でご覧になれます。

■助成金以外のサポート制度

●手数料の免除

福祉活動を目的とする団体に対し為替手数料や証明書発行手数料を免除し、団体の活動を支援いたします。

●NPO事業サポートローン

法人格取得前も含め3年以上の活動実績があり、かつ法人格取得後1事業年度の決算が確定している団体に対し、無担保500万円・有担保3,000万円以内の融資制度を用意しています。

●ろうきん施設の利用

ろうきんが認定した団体であれば、一部の営業店の会議室やロビーを利用することが出来ます。

お問い合わせ先

経営統括部 TEL.087-811-8004

E-メールアドレス：
manage@shikoku-rokin.or.jp

または最寄りの営業店にお問い合わせ
ください。

 働くあなたを応援したい
四国ろうきん
<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

こくみん共済 coop

こくみん共済 NEWS
coop

全労済の新しい愛称「こくみん共済 coop」のお知らせ

2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ変わりました。



1 「こくみん共済 coop」の背景

全労済はたすけあいの生協として1957年9月に誕生し、これまで多くの皆さまに共済へご加入いただきてまいりました。

「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万が一に備える」という仕組みです。

少子高齢社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、全労済は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を進めていきます。

そのために、全労済が大切にしてきた「たすけあい」の仕組みや活動を、あらためてお伝えすることで、より多くの皆さまに「たすけあいの輪」に参加いただき、その輪をむすび広げてまいりたいと考えています。

その想いを「こくみん共済 coop」という愛称に込めました。

2 「こくみん共済 coop」について

「こくみん共済 coop」という愛称は、以下を表現しています。

1 「こくみん」とは「みんな」のこと。

多くの人に「たすけあいの輪」に参加していただくことをめざします。

2 「共済」とは「互いにたすけあう保障の仕組み」のこと。

より多くの人に必要とされる保障を、ひとりひとりの生活に合わせて提供します。

3 「coop」とは協同組合のこと

人と人とをむすび、そこに集う人たちの生活を守ります。

今後とも「こくみん共済 coop」をよろしくお願いいたします。

勤労者福祉ネットワーク

◆第7回評議員会開催

評議員・役員 SDGsの目標を超え、女性登用33.3%に！

6月18日、ろうきんホール（徳島県立中央テクノスクール）において勤労者福祉ネットワーク第7回評議員会を、評議員12名、役員16名出席のもと開催いたしました。

久積育郎理事長が議長となり、評議員会成立宣言に続き、冒頭のあいさつの中で2018年度事業の特徴点として次の4点をあげました。

- ①あいあいファミサポフェスティバルを四国大学との連携協定に基づき、大学の体育館で開催し、2,500名を超える来場者で賑わったこと。
 - ②あわ～ず徳島の会員が13,000人を突破したこと。また、中小企業の福利厚生について調査を行い結果を関係諸団体と共有したこと。
 - ③2周年を迎えた結婚支援事業マリッサとくしまで、記念キャンペーンを実施し会員増加数が昨年同時期と比較して倍増したこと、また成婚者も34組と大きな成果をあげたこと。
 - ④モンゴル国から2ヶ月間、研修生を迎え、労働者福祉をはじめとする様々な研修を実施したこと。
- などを紹介するとともに、2019年度計画の特徴点について2点、
- ①ファミサポが徳島に生まれて20年。20周年記念イベントを計画していること。
 - ②7月には友好交流協定締結のためモンゴルを訪問すること。
- などを示しました。

また、今回の役員改選にあたり、特徴として、SDGsを踏まえての目標である女性の登用30%を、評議員・役員とも超える人事となる旨、報告しました。

続いて、議事に入り、《第1号議案》2018年度貸借対照表、損益計算書、貸借対照表及び損益計算書付属明細、財産目録承認の件、《第2号議案》評議員補欠選任及び増員の件、《第3号議案》役員改選の件、《第4号議案》役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程改定の件についてそれぞれ提案、満場一致で可決承認されました。

新たな評議員・役員体制は次の通り

役職名	氏名	所 属	
評 議 員	岩崎 啓二	元徳島県市長会事務局長	
	坂東 恒利	徳島県町村会	
	久住 厚司	徳島県商工会連合会	
	元木 啓介	徳島県中小企業団体中央会	
	西 和彦	徳島県商工会議所連合会	
	濱田 行雄	徳島県経営者協会	
	豊田 浩	こくみん共済 coop 徳島推進本部	
	板東 啓太郎	四国労働金庫徳島営業本部	新
	片岡 可恭	日本労働組合総連合会徳島連合会	
	三橋 松男	(公社) 徳島県労働者福祉協議会	新
	清田 麻利子	NPO法人フードバンクとくしま	
	米澤 和美	徳島県社会保険労務士会	
	和泉 芳枝	徳島県社会福祉士会	新
	坂田 千代子	株式会社あわわ	新
	明石 圭子	徳島ファミリー・サポート・センター	新

役職名	氏名	所 属	
理 事 長	久積 育郎	(公財) 徳島県労働者福祉ネットワーク	再
副理事長	林 香与子	徳島県経営者協会	新
	川越 敏良	(公社) 徳島県労働者福祉協議会	再
	黒下 耕司	徳島県商工労働観光部	再
専務理事	杉本 友好	(公財) 徳島県労働者福祉ネットワーク	再
常務理事	川原 佳子	(公財) 徳島県労働者福祉ネットワーク	再
理 事	小原 直樹	徳島県町村会	再
	小泉 吉太郎	徳島県市長会	再
	玉田 直彦	徳島県商工会連合会	再
	小笠 恭彦	徳島県商工会議所連合会	再
	森本 佳広	四国労働金庫徳島営業本部	新
	藤岡 一雄	こくみん共済 coop 徳島推進本部	再
	喜多條 雅子	NPO 法人 Creer	再
	加渡 いづみ	四国大学短期大学部	再
	多田 道代	徳島県生活協同組合連合会	新
	蔭山 真應	徳島県中小企業団体中央会	再
監 事	新居 栄治	日本労働組合総連合会徳島連合会	新
	武田 勝行	武田勝行税理士事務所	再

コミュニティビジネスセミナー 2019

ビジュアル・ファシリテーター：玉有 朋子氏
ファシリテーター：吉野 哲一氏

思いに花を5咲かせよう！

地域を元気にする
新しいかたちの市民活動！
場所：ふれあい健康館（徳島市沖浜東 2-16）

1 あなたの解決したい地域の困りごとを、解決のための道のりを知ろう！



思いの種を見つけよう！
2019.9/6(金)13:30-16:30
ゲスト（一社）ソシオデザイン / 大西 正徳氏

2 とくしから学ぶ「コミュニティビジネス」でひろがる地域と自分の可能性



思いの種をまこう！
2019.9/13(金)13:30-16:30
ゲスト（株）Tサポート代表取締役 村上 裕氏

3 一人で悩まない！協働・連携で事業をすすめるコツ



思いの種を芽吹かせよう！
2019.9/20(金)13:30-16:30
ゲスト（株）アワグラス代表取締役 岸村 恵作氏



コミュニティビジネスとは？

「コミュニティビジネス」は、「地域の課題を地域住民が主体的に、ビジネスの手法を用いて解決する取り組み」です。

ワークショップ形式で地域の課題を掘り起こしながら、「こんなサービスがあったら地域が活性化するんじゃないか」「こんなお店があったら喜ぶ」など、アイデアを形にして、地域を豊かに、元気にするビジネスを創り出していきたいと思います！

応募方法などお問合せは
(公財) 徳島県労働者福祉ネットワーク
E-mail: nw@toku-nw.com



応募期間 2019年6月28日(金)～2019年8月30日(金) ※定員になり次第 締め切らせていただきます。

参加費
無料！

地域ライフサポートセンターの活動

徳島中央ライフサポートセンター

～第10回定期総会を開催しました～

*と き 5月20日(月)18:00～

*ところ 労働福祉会館502号室

5月20日(月)18時から労館502号室にて第10回定期総会を開催しました。

杉本副会長の開会あいさつの後、議長には、四国労働金庫梅岡代議員が承認され、総会運営・資格審査委員には全労済徳島推進本部仁熊代議員、総会書記に中山書記が選出されました。

主催者を代表し宮本会長が「ライフサポートセンターは、来年3月で満10年となります。労福協をはじめ労働・福祉団体や西部・南部のライフサポートセンターと連携し、地域に根ざした顔の見える幅の広い活動に取り組み、更なる地域住民の生活をサポートする地域福祉の拠点としての役割を果たしていきたい」とあいさつがありました。

つづいて、来賓の徳島県商工労働観光部阿部労働雇用戦略課長、連合徳島森本会長、徳島県労働者福祉協議会川越会長からそれぞれあいさつを頂きました。

新居副会長が祝電を披露し、近藤資格審査委員より代議員総数29名中出席代議員24名(うち委任状提出者4名)・役員18名中13名の出席があり総会が成立していることを宣言しました。

報告事項に移り、①2018年度活動経過報告②2018年度会計報告を板東事務局長から一括報告、また、③会計監査報告を谷本監事より報告し、質疑の後、賛成多数で承認されました。

引き続き、議事に入り、第1号議案2019年度活動方針(案)、第2号議案2019年度予算(案)、第3号議案規約の一部改正(案)が執行部(板東事務局長)から一括提案され、それぞれ賛成多数で承認されました。

次に、第4号議案2019年度徳島中央ライフサポートセンター役員の選出(案)について宮本会長より提案され、満場一致で承認されました。そして、松本副会長の「本日承認頂いた新年度の方針に基づき役員一同新たな決意で活動に取り組んでまいります。」と閉会あいさつし無事終了しました。



<徳島中央ライフサポートセンター役員>

2019年5月20日現在

役職名	氏名	所属団体
会長	宮本 武司	中央地域代表
副会長	今治 小百合	四国労働金庫徳島支店
〃	豊田 浩	全労済徳島推進本部
〃	新居 良雄	フレッシュ
〃	杉本 友好	徳島県労働者福祉ネットワーク
〃	松本 光弘	徳島地域代表
〃	村上 貴則	北部地域代表
〃	尾田 賢治	中部地域代表
事務局長	板東 喜代子	専従
理事	西 英二	四国労働金庫徳島北支店
〃	遠藤 好人	四国労働金庫鴨島支店
〃	祖父江 広幸	徳島地域代表
〃	小谷 正勝	北部地域代表
〃	青山 広樹	東部地域代表
〃	加美 大輔	中部地域代表
〃	元川 仁	NPO法人壮生
監事	谷本 智	徳島地域代表
〃	藤崎 夏男	北部地域代表

～セクシャルマイノリティ研修会～

*と き 5月20日(月)19:00～

*ところ 労働福祉会館502号室

*講師 連合総合男女・雇用平等局
照沼光二次長

5月20日(月)19時から労館502号室にて、徳島中央ライフサポートセンターと連合徳島中央地域協議会の共催で連合総合男女・雇用平等局 照沼光二次長に「セクシャルマイノリティの現状と課題」について講演をいただきました。連合の「性的指向及び自認(SOGI)に関する差別禁止に向けた取り組みガイドライン」の中



では、差別禁止に向けた法整備に関する取り組み(野党が出した議員立法の早期成立に向けて当事者団体等と連携して取り組む)が重要課題であり、運動面においては、学習会の開催や調査の実施などを行わなければならないこと、また2020東京オリンピック、パラリンピックに向けて東京都は人権尊重の理念実現に向けた条例を制定したこと、地方自治体においては、9つの自治体で「同性パートナーシップ制度」が導入され次々と全国に広がる流れとなってきた状況であることが説明されました。そして「四国ではどこの自治体も導入されておらず、ぜひとも徳島が先陣をきっていただきたい」と締めくくられ、講演は終了しました。

徳島西部ライフサポートセンター

～第14回徳島西部LSC定期総会を開催～

5月15日(水)18時より、大黒屋にて第14回徳島西部

ライフサポートセンター定期総会を開催しました。

挾谷副会長の挨拶に始まり、主催者を代表して大西会長より「働く者の拠り所、そして退職者のそ



の後の生活も含めて相談できる組織となっていきたい。今後も徳島西部ライフサポートセンターを活用してほしい。」との挨拶がありました。

続いて、来賓の徳島県労働者福祉協議会川越会長、三好市議会議員を代表して平田議員から挨拶をいただきました。

報告事項に移り、2018年度活動経過報告、決算報告、監査報告、議事に入り2019年度活動方針案、予算案が提案され満場一致で承認されました。その後、規約の一部改正が提案され賛成多数で承認されました。



同日に連合徳島西部地域協議会第26回臨時総会も開催され、上田副会長の閉会挨拶で総会を無事に終了しました。

令和が始まり、徳島西部ライフサポートセンターも新会長のもと新たなスタートをきりました。「目に見える運動」をテーマに、私たちの運動を再点検、再構築しながら進めてまいりたいと考えています。2019年度もよろしくお願いいたします。

<徳島西部ライフサポートセンター役員> 2019年5月15日現在

役 職 名	氏 名	職 場
会 長	細 田 博 樹	三好市職員労働組合連合会
副 会 長	挾 谷 肇	四国労働金庫池田支店長
〃	豊 田 浩	全労済徳島推進本部事務局長
〃	上 田 匠 児	PHC労働組合四国支部
事 務 局 長	薦 泰 見	連 合 徳 島 専 従
理 事	南 馨	日本郵政グループ労働組合徳島支部
〃	逸 見 秀 夫	阿波みよし農協職員労働組合
〃	赤 窄 政 治	四 国 交 通 労 働 組 合
〃	秋 山 和 久	四国電力労働組合池田支部
〃	新 居 良 雄	フ レ ッ セ
〃	本 田 達 也	徳島県病院局職員労働組合三好病院支部
〃	藤 井 清	徳島県職員労働組合三好支部
〃	石 田 幸 市	徳島県職員労働組合美馬支部
〃	仲 正 敏	美馬市職員労働組合連合会
〃	熊 井 健	つるぎ町職員労働組合
〃	桐 川 裕 成	三好市職員労働組合連合会
〃	三 好 芳 和	東みよし町職員労働組合連合会
〃	矢 藤 寿 浩	PHC労働組合四国支部
監 事	松 本 直 美	美馬農協職員労働組合
〃	岡 田 貴 明	四国労働金庫労働組合徳島支部池田分会

徳島南部ライフサポートセンター

～第9回徳島南部LSC定期総会を開催～

5月27日(月)18時30分から、阿南市文化会館研修室2において第9回徳島南部ライフサポートセンター定期総会を開催しました。

佐々木副会長の開会あいさつの後、主催者を代表して松本会長より「連帯・共同で作る安心・共生の福祉社会を実現するための地域拠点としての役割を果たしていきたい」と挨拶し、また各事業の展開にご協力ご支援いただいた皆様への感謝の言葉が述べられました。



続いて、徳島県労働者福祉協議会川越会長、金久阿南市福祉事務局長、連合徳島島事務局長、仁木博文元衆議院議員、仁木啓人県議会議員、福谷市議会議員から挨拶をいただきました。

議事に移り、2018年度活動経過報告、2018年度会計報告が事務局より一括報告、清水監事から会計監査報告があり、賛成多数で承認されました。引き続き、2019年度活動方針案、2019年度予算案、規約の一部改正案、2019年度新役員体制案が提案され、満場一致で承認されました。

最後に、「本日承認された方針のもと、様々な関連機関とも連携し、この活動を積極的に進めていくこと



を確認しあい、共にがんばりましょう」と宮田副会長の閉会あいさつがあり、総会が無事終了しました。

<徳島南部ライフサポートセンター役員> 2019年5月27日現在

役 職 名	氏 名	所 属 団 体
会 長	松 本 佳 彦	自治労 阿南市職労連
副 会 長	宮 田 義 文	J P 労 組 徳 島 南 支 部
〃	加 藤 憲 司	新日本電工労組 徳島支部
〃	佐々木 美 紀	四国労働金庫 阿南支店
〃	豊 田 浩	全 労 済 徳 島 推 進 本 部
〃	森 口 芳 洋	フ レ ッ セ 阿 南 支 部
〃	川 原 佳 子	徳島県勤労者福祉ネットワーク
事 務 局 長	益 田 英 明	専 従
理 事	葉 田 博 章	紙バ連合王子新労 富岡支部
〃	山 西 健 児	四国電労 阿南火力支部
〃	谷 本 修 司	倉敷紡績労組 徳島支部
〃	前 田 淳	自治労 阿南市職労連
〃	井 上 隼	四電ビジネス労組 橘湾支部
〃	根 木 屋 彰 文	自 治 労 那 賀 町 職
〃	前 原 健 太	自 治 労 牟 岐 町 職
〃	井 坂 博	全 国 一 般 柏 清 会 支 部
〃	武 田 慎 吾	阿 南 農 協 労 組
〃	片 岡 可 恭	連 合 徳 島
監 事	篠 原 裕 助	新日本電工労組 徳島支部
〃	清 水 昇	自 治 労 徳 島 県 職
書 記	生 原 ひろみ	専 従

わーくぴあ徳島

とくしま社会運動資料センター
第13回公開講座 報告

日時 2019年6月1日(土) 10:00～12:00
 場所 ヒューマンわーくぴあ徳島5F大ホール
 内容 部落史関連講座(3)
 「徳島の被差別民と芸能文化―
 阿波の箱まわしを中心に―」
 講師 辻本 一英 氏(芝原生活文化研究所)

とくしま社会運動資料センターの第13回公開講座が、6月1日、ヒューマンわーくぴあ徳島にて開催されました。労働福祉会館の会員団体の他、資料センターの運営委員、関係者など46名が参加しました。



冒頭、藤原理事長より「辻本さんは1970年代から阿波木偶箱まわし保存会を立ち上げ研究を重ねて来られました。本日同行している保存会副会長の南さんも90年代から伝承活動が続けておられます。この貴重な芸能が部落差別によって無くなった、そのことを決して忘れてはならない、という事を念頭に置きながら本講座を聞いて頂きたい」と開会の挨拶がありました。

本講座は部落史連続講座の一つであり、今回は芝原生活文化研究所の辻本一英氏に、「徳島の被差別民と芸能文化」と題して、三番叟回しや箱廻しの歴史、被差別部落との関連について語って頂きました。辻本先生は、徳島県指定無形民俗文化財に指定されている阿波木偶「三番叟まわし」、その他、阿波木偶「箱廻し」、阿波木偶「えびすまわし」「大黒まわし」などについて、豊富な写真を交えて詳しく解説され、「被差別部落の文化芸能がどういった役割を果たしたのか、悉皆調査を行い、専門家を交えて検証すれば見えてくる」と述べられました。レジュメには阿波木偶「三番叟まわし」「えびすまわし」の回壇先が地図上にドットプロットされた貴重な調査データも附されていました。

また演台の前には、当時の芸人が使用していた諸道具一式やご祝儀帳などが展示され、会場周囲には、徳島から全国へと伝播した人形芝居座の写

真パネルが並べられました。

講座が終わり質疑応答の後、とくしま社会運動資料センターの久積センター長より、「全国津々浦々に幸せを届けた箱廻し。正月に三番叟で頭を撫でられ、元気になれば、勉強が出来るようになればと言われ、頭を撫でて頂いたおかげで今日の文化がある。生活、社会の変遷をしっかりと見つめ直しながら、次の世代に向かっていくことが必要かと改めて感じました」と締めくくりの挨拶がありました。



特定非営利活動法人 壮生

2019年5月24日(金) 18時から壮生の第11回通常総会を開催しました。議長は当日出席した会員から選出するとの定めにより、全員一致により東條恭子会員を選出しました。

冒頭中村昌宏理事長のあいさつの後、来賓として、(一社)徳島県労働福祉会館藤原学理事長、(公社)徳島県労働者福祉協議会川越敏良会長より、激励とお互いに活動を進めていこうとあいさつを受け、2018年度事業活動報告・活動決算報告並びに監査報告の承認を得、向こう一年間の壮生事業活動計画・活動予算の承認を受けました。



事業計画の柱として、サポート壮生のさらなる充実を通じてシニアの居場所作りにつなげていくことや、2019年度は新たに「絵手紙教室」を開講し、壮生会員が自由に集い・交流できる場づくりの拡大を図ることを確認しました。

また従来役員の任期は2年との定めでしたが、役員は総会で選任されますので、総会から総会までとする定款の変更についても承認されました。会議等に関する定款の変更は、当局の認証が必要のため県への申請を直ちに行うこととしました。

シニアの居場所づくりを進める壮生にご協力賜り、正会員・賛助会員も募集しておりますので加入を含め、向こう一年間よろしくお願いします。



平日、忙しい人のために
休日に相談できる
ところがあるんだって。
けっこう、いいよね。
だから、私も、ろうきん。

けっこう使える。
ろうきん

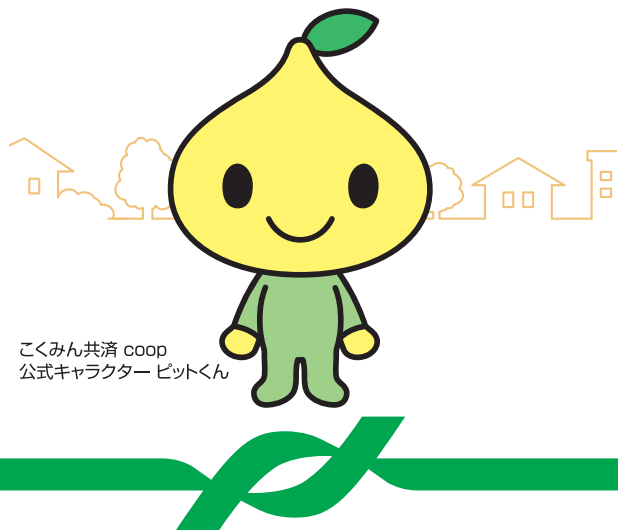
あなたと
わかちあう
次の一歩

ろうきん
アンバサダー
高梨 結

ろうきん

2019年6月、
全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済 NEWS
coop



こくみん共済	団体生命共済
火災共済	自然災害共済
総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	自賠償共済
交通災害共済	新セット移行共済

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

発行 公益社団法人

徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1（わーくびあ徳島内）
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 川越 敏良

印刷者 (有)フォトプリント白石